

## 第3章 花巻市の保健福祉を取り巻く現状と課題

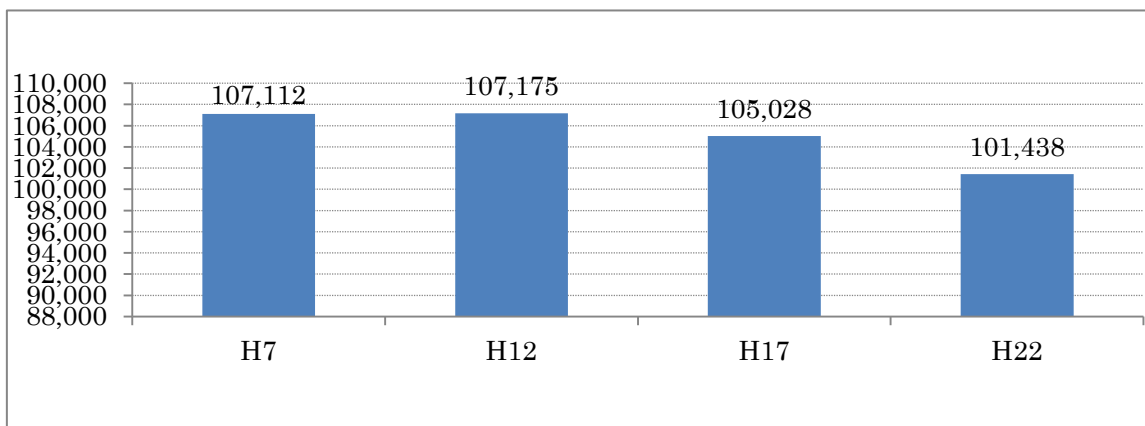
国勢調査によると、本市の人口は平成7年度107,112人、平成12年度107,175人と微増でしたが、平成17年度105,028人、平成22年度101,438人と減少に転じています。

1世帯当たりの人員は、平成17年度3.14人/世帯、平成22年度3.00人/世帯と、核家族化が一層進んでいます。

また、総人口の年齢構成割合の推移をみると、年少人口（15歳未満の人口）が平成17年度14,036人（13.4%）、平成22年度12,819人（12.6%）と減少する一方で、高齢者人口（65歳以上の人口）は平成17年度27,080人（25.8%）、平成22年度28,869人（28.5%）と増加を続けており、一層少子高齢化が進んでいます。

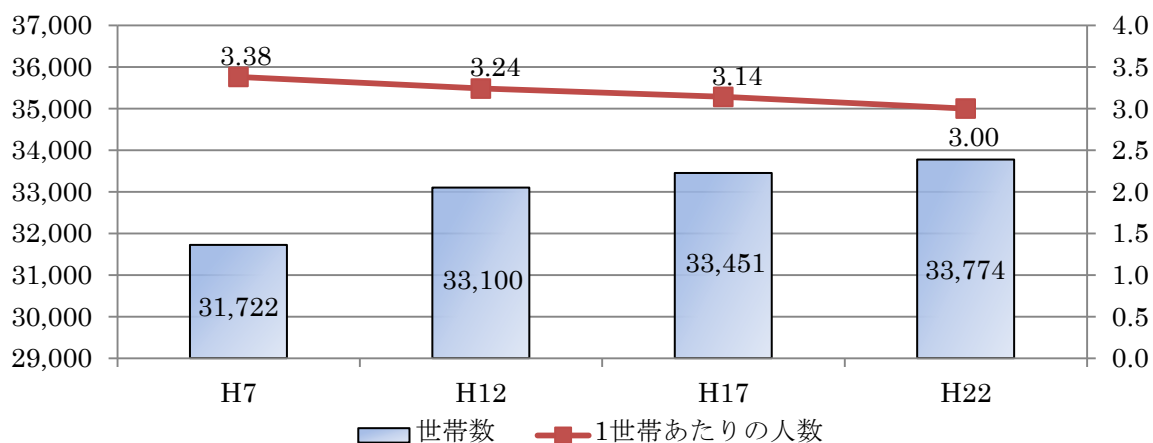
- ① 核家族化が進むことにより、一人暮らしや日中家に一人になる高齢者・障がい者等が増えてきており、地域での見守りや支え合いが必要です。
- ② 高齢者人口の増加に伴い、介護を必要とする人も増加すると見込まれることから、高齢者福祉施策の充実とともに、介護予防のため健康で元気な高齢者を増やすことが急務です。
- ③ 核家族化及び高齢化の進行に伴って、障がい者は、頼れる親がいなくなった後の生活について不安を感じており、将来にわたって住み慣れた地域で安心して生活できるように支援していく必要があります。
- ④ 核家族化の進行や女性の社会進出により、要保育児童の低年齢化が進み、子育てを地域で支える環境づくりが必要です。
- ⑤ 少子高齢化の進行や生活様式の多様化に伴い、健康増進の重要性が増大しており、安心していきいきと暮らすためには、みんなで健康づくりに取り組む必要があります。

### 花巻市の総人口の推移



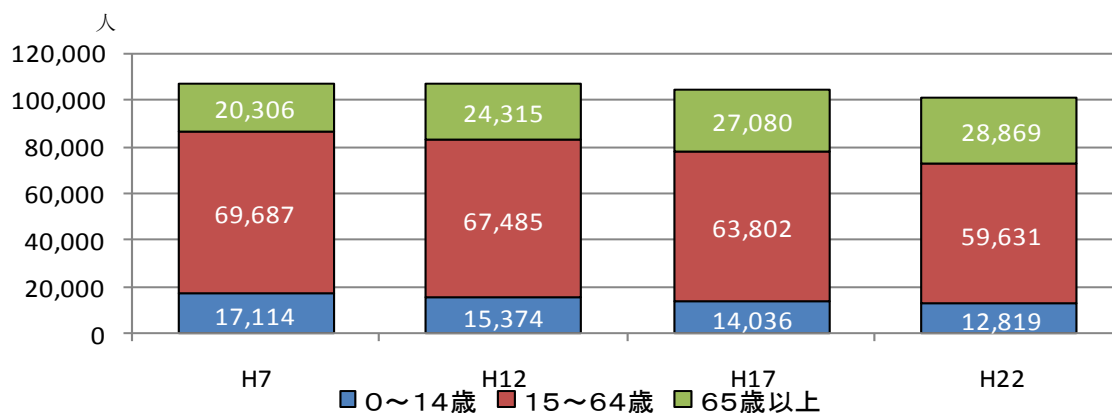
(資料：国勢調査)

### 世帯数の推移と1世帯あたりの人数



(資料：国勢調査)

### 世代別人口



(資料：国勢調査)